

約束された未来へ

学校長 杉 森 伸 吉

日一日と、陽の光が輝きを増し、桜の花もほころぶ、春爛漫な季節となりました。6年間、菊の園で大切に育ててきた菊の子たちも、立派な大輪の花を咲かせるように、心身ともにたくましく育ち、可能性に輝いています。

一緒に成長し、思い出をはぐくんできた仲間たちや下級生たちと、お別れするのは寂しいですね。しかし、それぞれの菊の園の卒業生たちが、新しい学びの場で活躍しながらも心ではつながって、まるで見えない一匹の大きな魚のように、たくましく、大小さまざまな人生の波を乗り越え、かならず将来幸せになるという未来は、約束されていると感じています。

菊の園では、「行事で子供を育てる」という考えで、実に様々な体験を積んできました。体験を積むことで、様々なことへの理解も深まりますし、勘が働くようになります。勘や直感が働くということは、生きていく上で大切なことですが、とくにリーダーになるうえでは、大切なことと思います。集団での意思決定をするときに、実体験の少ないリーダーが、頭だけで考えると、間違えた決定をしてしまい、集団全体に迷惑をかける可能性が増えるからです。そういう意味では、これからも、さまざまな体験を積んで、直観力や、勘の良さを養ってほしいと思います。送り出す私たちは、卒業生の皆さんが、さらに大きく成長した姿を、将来また見せてくれることと信じ、再会できる日を楽しみにしています。

最後に、保護者、菊泉会、泉友会などの皆様にも、いつもご理解とご助力を賜り、誠にありがとうございます。おかげさまで、今年度も無事に一つの区切りを迎えることができましたが、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。